

<日付> 10月3日(月)	<学級> 4年1組
---------------	-----------

教科・単元名	国語「ごんぎつね」
--------	-----------

実践の概要

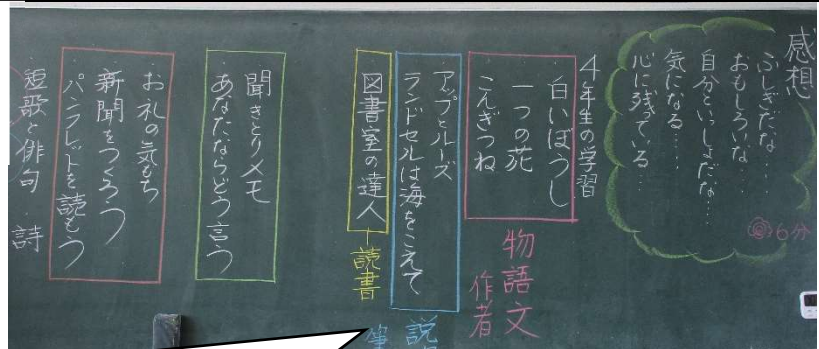
学習活動(1)「初めて読んだ感想を書く」

これまで国語で学習してきた単元を分類し、「ごんぎつね」は物語文に分類されることを確認した。物語文を通してどのような学習をしてきたか思い出した後、「ごんぎつね」の単元末の学習活動を提示した。単元末では、劇団の演出家として、「ごんぎつね」を公演するにあたり、作品の紹介動画をつくり、団員に見せることを提示した。授業の後半では、範読を聞き初発の感想を書いた。

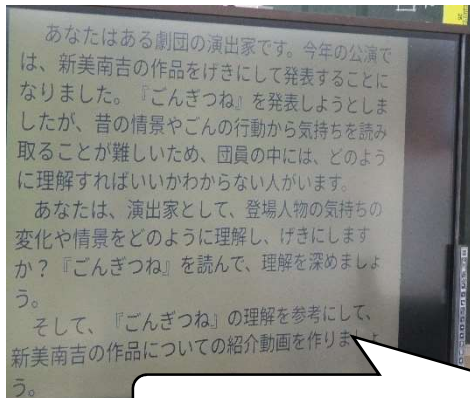
子供の姿



上の教科書では、白いぼうし、一つの花、アップとルーズがあります。



物語文と説明文がありました。ごんぎつねは物語文です。



動画を作る？やってみたい！



ごんはひとりぼっちでさみしいからいたずらをしたと思います。

感想	P	<p>演出家として、昔の情景やごんの行動から気持ちを読み取り、団員に伝えるという設定の基、学習を進めていくため、「登場人物の気持ちの変化や情景を理解すること」に対する必要感が生まれた。今後学習を通して理解が深まったことを、動画にまとめていくことに、子供たちは非常に興味をもっていた。</p> <p>また、単元の目標や単元計画をロイロノートのカードで示し、全員に送った。単元を通してどのような力を高めるかや、今後の学習の見通しを子供自身もつことができた。</p>
	I	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演出家としての設定</li> <li>・単元末に紹介動画を作るという課題</li> </ul> <p>提示した瞬間、子供たちの目が輝き、学習へ向かう意欲がさらに高まったことが見て取れた。</p>

まとめ

単元の導入場面では、子供たちが題材や学習活動に対して興味や関心をもてるような課題が有効であることが分かった。特に、演出家としての設定や学習したことを基にして紹介動画を作るという活動は、学習へ向かう意欲がさらに高まった。